



石川県農業法人協会 会長 井村辰二郎

震災の被害に遭われた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。また、災害への支援や復興に向け、ご尽力頂いている行政・団体等、関係者の皆様に御礼申し上げます。当協会も役員・会員一丸となって、復興に向けた活動を続けて行く覚悟です。今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

## 活動紹介

2月

炊き出し



1. 5次避難所に指定されている、石川スポーツセンター・産業展示館にて炊き出し活動を行いました。レシピは提供のしやすさ、副菜を含めた栄養バランスなどを考慮し「ハヤシライス」を考案。食材は、会員、また県内外支援者からも食材を提供を頂き、230食を提供しました。参加した会員からは「避難所に足りないものは支援物資はもちろんだと癒し」だと感じました。」との感想があった。

11月

J A 石川県連との  
意見交換会



J A 石川県連と集落営農組織 J A 連絡協議会との意見交換会を開催。J A 石川県連からは米価の推移、肥料資材の価格の状況の報告、集落営農組織 J A 連絡協議会からは、集落営農の現状報告、各農業法人からは、価格転嫁出来ない状況、人材不足に悩む現状がそれぞれ報告されました。

11月

法人視察研修  
in 加賀



第3回理事会に合わせ加賀地区の吉田農園の洋ラン園と岸グリーンサービスマネジメントの木場潟公園東園地「木場潟さとしるべ」を視察しました。その後、理事会をホテルアローで行いました。その後、アグリサポーター会員からのサービスマネジメントの紹介と盛りだくさんな1日となりました。

# 支部活動紹介

未掲載地区  
順次活動予定

## 奥能登支部



全農よりザルビオ、米穀情勢等の説明をしていたいただきました。また、会員の吉中さんから2024年問題について端的に説明をいただきました。

懇親会を見送ったので、会員の近況報告・課題など情報共有が出来なかった事が反省点です。

## 石川支部



林副会長からスマートDX農業の取組や課題などについて説明をいただき、会員間で情報交換等を行いました。

大豆の生産課題や外国人実習生の導入について会員の感度が高く、今後の課題・テーマとして考えていきたいと思えます。

## 県央支部



県央地区における地域計画の現状を農林からお聞きし、担い手確保の問題を中心に意見交換しました。その中で、産地の担い手確保に特化した法人が設立されているなどの学びもありました。こういったことを踏まえて、まずは、農林が事務局をしている他団体（農振協、JA、農業青年）との懇親を深めるため、懇親会を中心とした意見交換の場を設定することとなりました。

## 令和5年度 支部活動実績

### 【理事会活動】

月	日	活動内容	場所
11月	10日	第4回理事会（拡大理事会）※	加賀地区
12月	5日	第5回理事会	金沢市
1月	11日	第1回臨時役員会	金沢市
2月	7日	第2回臨時役員会	金沢市
3月	5日	第6回理事会	金沢市
3月	28日	第7回理事会	金沢市

※拡大理事会は会員間の連携強化を目的として今年度から新たに始める取組です。  
理事会と同日に、会員を対象とした視察や講演会等を予定しています。

### 【協会活動】

月	日	活動内容	場所
10月	5日	石川県農林水産部との意見交換会	金沢市
11月	6～7日	北信越ブロック農業法人研修交流会	富山県
	24日	JA石川県連との意見交換会	金沢市
12月	5日	日本政策金融公庫との意見交換会	金沢市
2月	16日	能登半島地震に関する緊急要望（国）	
	28日	能登半島地震に関する緊急要望（県）	
3月	14～15日	日本農業法人協会春季セミナー	東京都

上記活動の他に、北陸農政局との意見交換会や日本政策公庫との意見交換会や農林総合事務所と連携した地域活動を予定しております。  
会員の皆様のご参加のほど宜しくお願い致します。また、協会では随時会員を募集しております。興味のある方は事務局までご連絡お願いします。



本たよりの配布対象

会員、賛助会員、アグリサポート会員、その他関係機関  
本協会へのお問い合わせは下記まで宜しくお願いいたします。  
<石川県農業法人協会事務局>

担当：吉田、連、工藤

電話番号：076-225-7621((公財)いしかわ農業総合支援機構内)

メール：syogo-y@inz.or.jp、muraji@inz.or.jp、rinkudo@inz.or.jp